ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区　広報誌
第２４号

2019年 2月 25日
組織拡充委員会

新春に一言　　あすなろ地区 地区協議会長　岡村　實

三指　本年もよろしくお願いいたします。

さて、世の中では「平成最後の何々」と言われますが、我があすなろ地区としても今年４月に第１０回目の地区総会を迎える節目の年となります。

少子高齢化時代が本格化すると言われていますが、我々ボーイスカウト関係者は日々スカウト達と接する機会も多く、ある意味では幸せとも言えます。しかし、あすなろ地区にとっても新しい指導者や若い指導者の育成が急務です。

菊、隼、富士章の面接で接するあすなろ地区のスカウトは素晴らしいです。これは各団の成人指導者皆様のご尽力の賜物と感謝いたします。このスカウト達が指導者となり、あすなろ地区を背負っていけるように、引き続きご支援をお願いします。

２月１１日には、あすなろ地区登録審査会がありました。「登録審査」とは、各団の将来ビジョンも含めて各団の現状を確認する、いわば「各団の健康診断」とも言えます。各団が健康を保ちながら元気に活動を展開し、あすなろ地区を盛り上げていけたらと願っています。

昨年、日本連盟が杉並区下井草に移転してきました。まさに我々あすなろ地区は、日本連盟のお膝元となりましたので、お膝元の地区にふさわしい更なる成長を図っていきたいものです。

今年はイノシシ年です。イノシシは「猪突猛進」と言われますが、敵に遭遇すると「水の中も泳ぐ」と言われ、状況の変化に対する適応力を備えているそうです。我々あすなろ地区も、状況の変化にタイムリーに、的確に対応することが重要です。

是非、今年もあすなろ地区の皆様方のご支援、ご協力をいただき、あすなろ地区が発展していくことを願っています。　　弥栄

登録審査会、スカウト報告会、リーダーの集い

２月１１日（祝）、杉並２団本部の築地本願寺和田堀廟所で、毎年恒例の登録審査会、スカウト報告会、リーダーの集いが開催されました。

１．登録審査会

登録審査会は蓮華の間で行われ、平成３１年度の継続登録に向けて、各団から提出された登録関連資料をもとに、組織体制、活動内容、指導者の養成状況などの審査がおこなわれました。

2.スカウト報告会

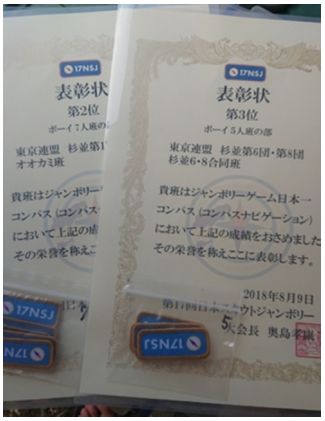
スカウト報告会は本堂で、杉並5団ローバー隊関戸大輔さんの司会により、３部に分かれて、プロジェクターで画面を映し出しながら報告がありました。

2-1 ジャンボリーの参加報告

昨年８月、石川県珠洲市で開催された第１７回日本スカウトジャンボリー（17NSJ）に参加した東京第２３隊、第２４隊、第２５隊の代表スカウトの報告が行われました。

第２３隊

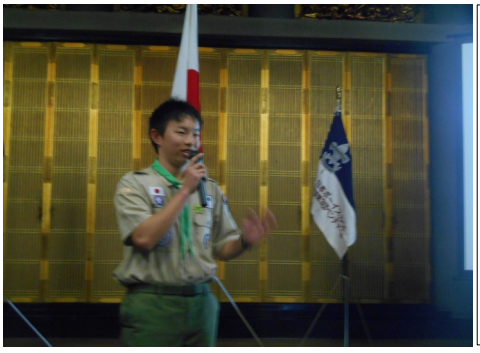
第２３隊は杉並１１団ボーイ隊オオカミ班班長の高野夏帆さんより、「ジャンボリーゲーム日本一」の手旗信号読み取り、丸太運び競争などに挑戦し、コンパス競技では全国第２位の栄誉に輝いたことの報告がありました。

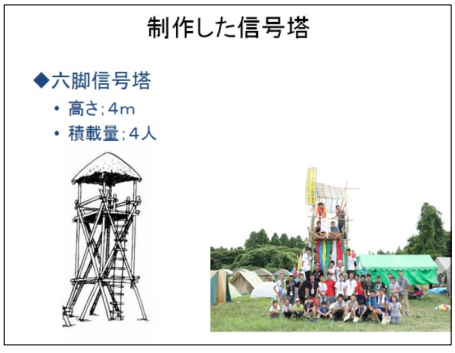


第２４隊

第２４隊は杉並９団ベンチャー隊の相澤岳琉さんより、ジャンボリーを楽しむため、高さ４ｍの六脚の信号塔を提案したこと、模型を作って材料を決定し、中２以下ははしご、信号塔の飾りつけ、中３以上は信号塔本体を分担して作成したことや、信号塔の結索は１㎝でもずれると立たないので、はさみしばりの位置をあらかじめ正確に測り、屋根もつけ、布で装飾して地区ののぼり旗を高く掲げて立派にできたこと、さらに会場内の目立つ場所に移設することになって多くの方に見てもらえたことや、日本連盟のインスタグラム、スカウティング誌にも載ったことが報告されました。

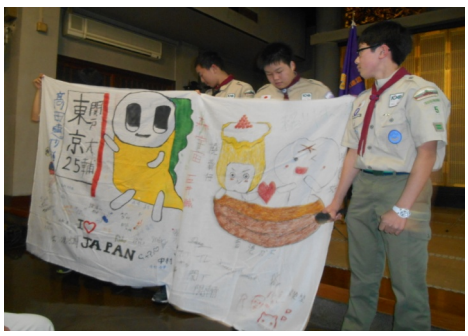
一つの信号塔を隊全員で作成することで、隊全体の気持ちが一つになることができ、自分たちの目標を実現できて、達成感を味わうことができたとの感想もありました。





第２５隊

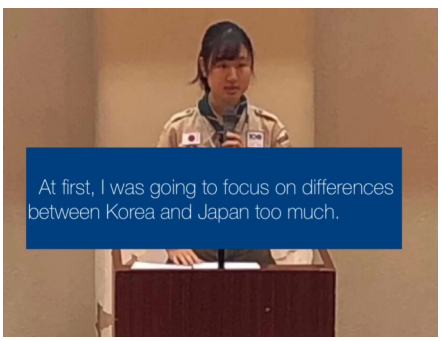
第２５隊は杉並２団ベンチャー隊富澤拓望、杉並３団ベンチャー隊東 良真、杉並４団ボーイ隊高田恵也、杉並５団ボーイ隊辻凛太郎さんから、香港のスカウトと交流しながら隊員が協力して描いた２５隊の旗が紹介されました。



2-2. 日韓スカウト交流会の報告

杉並３団ベンチャー隊の秦ゆかりさんより、１月１２日より３日間、川崎市青少年の家で開催された「日韓スカウト交流会」に参加した報告がありました。

交流会では日本のスカウト47名、韓国のスカウト36人で７つのグループを作って交流し、翌日は川崎市内を見学して、Ｋ－ＰＯＰのダンスを一緒に踊ったり、チマチョゴリを着たりして、お互いの文化の交流をすることができ、全体の代表として英語でスピーチをする機会があったことの報告があり、世界規模のボーイスカウトに所属することによって、海外スカウトと交流を経験できるのは素晴らしいと思った、との感想がありました。



2-3. 富士スカウト章・プロジェクトの報告

ワクワクカブ　　杉並１１団 ベンチャー隊　牛山 明音

プロジェクトの名称は「ワクワクカブ　ACTIVITY IN OUR HEART」で、自分のカブ隊時代が楽しく、毎回のように活動に参加していたため、今のカブ隊にその楽しさを伝えることができるように、自分の企画で「ファミリーDAY」や「マジックショーとゲーム」の活動を通じて指導したことの報告がありました。

また活動はカブ隊、ビーバー隊や保護者など年齢層が広く、ゲーム説明や全体をまとめることが大変で、指導する立場で初めてわかる事があったとの感想がありました。

菊が如く　　杉並１１団 ベンチャー隊　吉岡 優奈

プロジェクト名は「菊が如く」で、杉並１１団に優秀で礼儀正しいスカウトを育て、ボーイ隊から菊スカウト章を２人出すことを目標にして、高尾山ハイキングの計画書の作成や、地図とシルバーコンパスの使い方を上班として初級スカウト３名に指導し、３名が無事に菊章を取得することができたとの報告がありました。

ゴミ箱ポイポイ　　杉並１１団 ベンチャー隊 山本 虎太郎

オリンピックに向けて外国人観光客が増えているが、外国人が日本に来てがっかりしたことの３位はゴミ箱が少ないことのため、スマホの地図画面にゴミ箱の位置や、捨てることのできるゴミの種類を表示できるよう、Android、Java、GMP、Firebase等のモバイル開発言語を使って、多言語で利用できるスマホアプリを開発した。

また、汚れたプラスチックごみは、地域により燃えないゴミ、あるいは燃えるゴミに分かれ、日本人でも分からないことがあるため、自ら「Trash Lens」のソフトを開発した。ダウンロードして、調べたいゴミをスマホで撮影すると、画像認識ソフトがペットボトル、もえるゴミ、もえないゴミなどと判断し、ソフトが現在地を取得して、地域ごとの分別情報、処分の注意事項が分かりやすく表示されるようにした。

いままでは分別表などから捨てたいゴミの欄を見つけ出して確認していたのが、これからはスマホで撮るだけで、自動的に判断できるようにしたとの報告がありました。

３．リーダーの集い

リーダーの集いには、各団と隊のリーダー、育成会員、保護者などが多数参加しました。

杉並区児童青少年課土田課長さんの来賓挨拶のあと乾杯して懇親を深め、団ごとに団とメンバーを紹介しました。

ビンゴゲームでは、東京連盟や参加者などから寄贈された品が多数用意され、数字の発表のたびに「リーチ！、ビンゴ！」の声がかかりました。

佐藤地区委員長挨拶

ビンゴゲーム

杉並２団

杉並３団

杉並４団

杉並５団

杉並６団

杉並８団

杉並１１団

杉並１３団

中野３団

中野８団

中野１１団

富士スカウト章　記念品授与

１２月１４日(金)中野８団ベンチャー隊の福田陽介さんは富士スカウト章を取得したことから、スカウト会館で富士スカウト章伝達式がありました。

また、あすなろ地区では１２月２２日（土）開催の地区委員会に先立ち、佐藤地区委員長より富士スカウト章を取得した記念品のバックル、岡村協議会長よりチーフリングが授与され、地区委員会の参加者は弥栄の祝声でお祝いしました。

菊スカウト章　授与

１月２４日(木)阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会の前に、杉並３団ボーイ隊の深浦柊希さんに佐藤地区委員長より菊スカウト章が、下地地区コミッショナーより菊章のチーフリングが授与されました。

隼スカウト章　授与

２月１１日(月)築地本願寺和田堀廟所で開催された「新春リーダーの集い」では、「１７ＮＳＪ代表スカウト発表、日韓スカウト交歓、富士スカウト・プロジェクト発表」の前に、杉並３団ベンチャー隊の秦ゆかりさんに佐藤地区委員長より隼スカウト章が授与されました。

会場に集まった参加者全員で弥栄を三唱し、受章をお祝いしました。

パインウッド・ダービー　レディ・ゴー！

1月20日（日）、あすなろ地区のパインウッド・ダービーがウェルファーム杉並で開催され、杉並11団、杉並13団、中野3団、中野5団、中野8団のカブスカウト67名、リーダー23名が参加しました。

参加スカウトは四角い松材をレーシングカーなどの形に自由に削り出して着色した手作りの愛車を持参し、受付で車の長さや幅、重量などがルール通りか車検を受けました。

開会セレモニーのあと、うさぎ、しか、くまのクラス別にレースが開始され、「レディ・ゴー！」のかけ声とともに車がレーンを駆抜けると着順や時間が映写幕に表示され、レーンを変えて4回出走の平均タイムで比較しました。

レース以外にも、車のスタイルやデザインによる特別賞も用意され、指導者や保護者が参加できるアンリミテッドクラスでも熱戦があり、各クラス上位のスカウトは、2月24日（日）に国士館大学世田谷キャンパスで開催されたパインウッドダービー東京大会に出場しました。

サイズ、重量などの車検

私が作った自慢の愛車です

開会式　岡村地区協議会長の挨拶

さまざまなデザインの車が勢揃い

勢いよく　レディ・ゴー！

どのレーンの車が一番？タイムは？

うさぎ、しか、くま、アンリミテッドの上位入賞者の表彰

上位入賞者（東京大会出場者）

うさぎ部門：　**1位**　小林璃美（杉13）、**2位**　及川瑛大（杉13）、**3位**　高野航平（杉11）
佐々田琴子（杉11）、高木航太郎（杉11）、伊藤璃子（杉13）、牛久 元（杉11）、中井元子（杉11）　８名

し か 部門：**1位**　田中瑠（中5）、**2位**　黒岩恒晴（中5）、**3位**　赤井珠果（杉13）、藤原滉矢（杉11）　４名

く ま 部門：**1位**　藤原海音（杉13）、**2位**　石坂航（杉11）、**3位**　升岡凛（杉11）
植草諒（中8）、萩原慎太郎（杉11）、橋場息吹（杉11）　６名

アンリミテッド部門：**1位**　生島孝一（杉13）、**2位**　小林正秀（杉13）、**3位**　田邊妙子（杉13）
澁谷武弘（杉13）、榎田吏紀（杉13）、稲葉留威（杉13）　６名

組　部門：**1位**　中野5団　1組

デザイン賞：**うさぎ部門**　大野祐一朗（中8）、**しか部門**　奥井雅久（杉13）、**くま部門**　大友舞花（中8）
アンリミテッド部門　工藤信二（杉11）

身近になったスカウトライブラリー

昨年12月、あすなろ地区の地元である杉並区下井草のスカウト会館にスカウトライブラリーがオープンしました。

開館は金・土・日曜日の13：00～17：00に限られますが、県連や地区などの各種資料、スカウト活動に関連したテーマ別の図書、キャンプ工作物などの模型、海外の文献、内外のスカウト切手アルバムなど、スカウト活動の参考になる豊富な資料が自由に閲覧できます。

また、スカウトライブラリーでは3月24日(日)にスカウト会館で牛乳パックでレーシングカーや笛を作るクラフト教室が無料で開催されます。日本連盟ホームページを参照のうえ、身近になったライブラリーの見学を兼ねて、クラフト教室に参加してはいかがでしょうか。

一日体験集会を開催　　杉並３団

１月２７日(日)、杉並３団は桃井幼稚園で一日体験集会を開催しました。区報や町内掲示のパンフレットでＰＲし、事前申込のあった親子が野外料理やゲームを通じてボーイスカウト活動を体験しました。参加者はゲームのあと、５つの組に分かれて指示書と地図により「森に住む小人さん」を探しに、近隣の清水森公園、妙正寺公園などをまわるミニハイクに出発し、小人の家から聞こえる音やにおいあて、病気になった小人の薬のための木の実探し、ロープ結び、キムスゲームなどに挑戦しました。

昼食はホットドッグをホイルに包んで牛乳パックで焼き、野菜スープでいただきました。

午後は子供たちが園庭でブレスレット作りをしている間に、室内では保護者にボーイスカウト活動の説明会を行いました。

当日はケーブルテレビの取材があり、翌日に活動内容が放映されました。

受付で名札、ネッカチーフを着用

団委員、保護者の方は調理

参加したみんなで猛獣狩り

幼稚園を出発してミニハイクへ！

小人の家の中から聞こえる音は何？

においあてゲーム

落ち葉の中から木の実など探すゲーム

妙正寺公園でロープを使い丸太結び

梅林に隠された品物を探してキムスゲーム

ホイル包みパンを紙パックに入れ着火

ホットドッグとスープの昼食

保護者への説明会

明治神宮で かがり火奉仕

昨年１２月３１日から本年の１月１日にかけて行われた明治神宮のかがり火奉仕に、あすなろ地区から３個団の１７名が参加し、中野５団ベンチャー隊と杉並１１団ベンチャー隊は拝殿近くの祓殿前、中野８団ボーイ隊とベンチャー隊は代々木駅方面の北参道のかがり火を担当しました。

スカウトによる明治神宮のかがり火奉仕は毎年開催されており、本年は東京連盟や他県連から195名のスカウトと指導者が参加しました。奉仕を始める前に本殿内で2018年の奉仕納めと2019年奉仕始めの祈祷を受けて配置につき、午後１１時過ぎにかがり火に点火されてスタートしました。

スカウトは明治神宮から支給されるネッカチーフを着用して奉仕します。ネッカチーフの色は毎年異なり、菊の紋章と干支、平成三十一年と記された今年の色は写真右下の水色でした。毎年かがり火奉仕に参加して、異なる色のネッカチーフが集まるのも楽しみです。

夜間の寒さの中で、防寒着なしに半袖の制服姿での警備は厳しいですが、交替で詰め所のテントの中で体を温め、温かい年越しそばも支給されます。

新年になった午前５時には閉会式があり、お参りをして帰宅しました。

第24回世界ジャンボリー(24WSJ) 準備始まる

第24回世界ジャンボリーは、米国ウェストバージニア州で7月19日(金)より8月5日(月)まで、「新世界の扉を開こう(Unlock the New World)」をテーマにして開催されます。

日本からは指導者、本部要員を含めて1,235名が派遣予定で、参加スカウトは28の隊に分かれ、あすなろ地区の杉並のスカウト27名は第12隊、中野のスカウト4名は第9隊の配属になります。

各隊では、３月以降、隊集会、訓練キャンプ、保護者説明会などを行い、７月の出発に向けて準備を進めていきます。本誌でも派遣隊の準備や、帰国後の報告をお知らせしていきます。

大会マーク

日本派遣団シンボルマーク

24WSJの会場

杉並８団 発団５０周年式典、閉団へ

１月２７日(日)、杉並８団の創立５０周年記念と閉団レセプションが荻窪タウンセブンの８階ホールで開催されました。

杉並８団は昭和４４年４月に東京２８８団として発団式を開催し、荻窪地域を中心に活動を展開してきましたが、本年３月末をもって閉団することになりました。

レセプションでは竹之内団委員長の挨拶、来賓の紹介と祝辞、祝宴があり、５０年間の杉並８団の歴史の足跡をたどれる展示コーナーも設けられ、懐かしい写真や資料に目を通す方も多くありました。参加された現役や元リーダーの方々、杉並８団で育ったＯＢの方々などは、なつかしい思い出や苦労した話などをして、閉団を惜しみました。

各隊隊長のスピーチもあり、ビンゴゲームで盛り上がったあと、育成会長の謝辞、永遠のスカウト斉唱、弥栄三唱して閉会となりました。

また、参加者には発団50周年を記念し、活動記録や情報板として利用されてきた杉並８団のホームページをＣＤにした記念品が配布されました。

杉並８団の呼称はなくなりますが、杉並８団のスカウト、指導者は今まで培ってきた杉八スピリッツで、一緒に活動してきた杉並６団に移籍し、活動を続けていきます。

竹之内団委員長の挨拶

レセプション会場

各隊隊長の挨拶

杉並８団50年間の活動資料、写真を展示

なつかしい話がはずむ参加者

もうすぐリーチのビンゴゲーム！

杉８スピリッツ永遠に！　　杉並８団　団委員長　竹之内實

平成31年は5月から新しい年号に代わりますが、世の中が大きく変わろうとしているこの年、杉並８団も大変革の年になりました。

1969年（昭和44年）1月7日、東京連盟西部地区の第288団として初期登録した時は、カブ隊、ボーイ隊だけの団でした。その後人数も増えて、1978年（昭和53年）からは、東京連盟も行政区に地区名も変わったため、団の呼称は杉並第８団に変わりました。

1983年（昭和58年）長野県八千穂高原で開催された15周年記念キャンプでは、200名近くの大家族になり、カブ隊は１隊と２隊、ボーイ隊も１隊と２隊、シニア隊、ローバー隊と６個隊を抱える最大団となりました。

その後、1994年（平成6年）の登録をピークに、荻窪の街も次第に変わり、2階建ての商店もビルになり、隊活動の拠点であった若杉小学校も児童数の減少により廃校になって、スカウト人口は次第に減少することになりました。

団としては毎年春と秋に募集活動を展開しましたが入団者が集まらず、少人数ではボーイスカウトの2大柱である進歩制度と班制度が確立できないため、2009年（平成21年）から、隣り町の杉並６団との合同活動を続けてきました。

合同で活動する中で、6団と8団の合同会議で何回も協議を重ねた結果、スカウトファーストのためにも、２つの団を統合しようとの結論に至りました。

統合によって杉並８団の呼称はなくなりますが、今まで培われてきた「杉８スピリッツ」は永遠に続きます。杉並８団の50周年が統合の年となりましたが、積み重ねてきた杉並８団の伝統を土台に、これからは杉並６団として、新しい第一歩を踏み出します。

杉並８団の閉団セレモニーには100余名の関係者が集い、50年の歴史を語り合い、和気あいあいと懐かしい話に花が咲いたようです。

あすなろ地区、杉並地区の各団の関係者には永い間お世話になりました。

閉団にあたり心より御礼を申し上げます。あすなろ地区が益々栄えますように！！

杉並８団の想い出アルバム・周年キャンプ

2018年10月　50周年記念杉並6団と合同の友情交歓会
青梅市釜の淵公園　かんぽの宿青梅

2013年9月　45周年記念キャンプ
八王子地蔵山キャンプ場

2008年5月　40周年記念キャンプ
群馬県吾妻町コニファーいわびつ

2003年8月　35周年記念キャンプ
友好団の新潟県十日町1団との交流キャンプ

料理を通じて国際交流　世界の国からこんにちは　　杉並１２団

30年12月16日（日）、杉並12団カブ隊は阿佐谷地域区民センターの料理室で、「世界の国からこんにちは」をテーマに料理づくりをしました。カブ隊では毎年、各国の方々に参加してもらって料理作りを開催しており、今年は稲田カブ隊長の知人で、法政大学在学中の女子学生で、中国人の劉金燕さんを招待しました。

料理は二つの組に分けて、日本料理の組は鳥や鱈、白菜、大根など、具だくさんの鍋と、ほうれんそうの胡麻和え、お餅入りお汁粉で、中華料理の組は麻婆豆腐、おにぎり、デザートの杏仁豆腐でした。

スカウトはエプロン、バンダナキャップをかけた姿で、前日に買いそろえた野菜を洗って刻んだり、ほうれんそうをごまで和えたり、たきたてのご飯をラップでくるんで、大きさも形も思い思いの鮭や梅干し入りのおにぎりをにぎりました。リーダー達は、子ども自身で料理作りを体験できるよう、なるべく手は出さずに助言する程度にしました。

劉さんには本場中国の麻婆豆腐料理の腕をふるってもらいました。

できあがった日本料理も中華料理も、スカウトの心がこもり、おにぎりには海苔を巻いて、皆で感謝して、おいしくいただきました。

午後はお互いの国を理解する国際交流の場として、日本の昔遊びの折り紙、おてだま、はねつき、だるま落としなどを楽しみました。劉さんからは中国の町の様子や子供たちの遊びの話があり、中国にも日本と同じような遊びはあるものの、最近はこうした昔遊びを楽しむ子どもが少なくなっているとのことでした。

野菜洗い

麻婆豆腐作り

杏仁豆腐作り

お皿洗い

ラップに包んでおにぎり作り

お餅を焼いてお汁粉へ

できた料理は美味しくいただきました